# **Since 1929**

# 日本の自動車産業の黎明期に

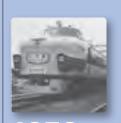
# 国内初のブレーキライニング (摩擦材) メーカーとして創業

#### 1960年 第1の転換期

総合ブレーキメーカーとして飛躍

#### 1986年第2の転換期

初の本格的な海外展開



国鉄新特急「こだま」 にレジン制輪子、ディ

スクブレーキライニン グが採用される

AD型ディスクブレーキが 昭和56年度「日本機械学 会賞」を受賞



米国GM社との合弁会社 Ambrake Corporationを米国に設立



日本のモータリゼーションの黎明期、日本 初のブレーキライニングメーカーとして創業



世界的なブレーキメーカー、米国ベンディックス社 とブレーキに関する技術援助契約を締結



インドネシア PT. Tri Dharma Wisesa に資本参加 (現 PT. Akebono Brake Astra Indonesia) アジアでの基盤構築の 第一歩となる

### 売上高の推移

## 2010年第3の転換期

グローバル化を加速



F1 マクラーレンチームに オフィシャルサプライヤーとして ブレーキシステムの供給を開始

(億円) 2,500



2,000 「市販ロードカー用

高性能自動車ブレーキ の開発と量産化」で2015年度 「日本機械学会賞」を受賞



1,500

スロバキア現地法人 「Akebono Brake Slovakia s.r.o.」を設立

1,000



本社新社屋「Akebono Crystal Wing (ACW)」竣工

(埼玉県羽生市)

新ロゴマークが完成

フランス生産拠点 Akebono Arras S.A. を設立 (現 Akebono Europe S.A.S. Arras Plant)



中国現地法人 「広州曙光制動器有限公司」 「曙光制動器(蘇州)有限公司」 を設立



独 Robert Bosch 社の 北米ブレーキ事業譲受契約を締結 2010 年よりグローバル化を加速